

# 大宜味村

## 農業委員会だより



耕作された元気な畑から村の未来が見えます。

### 農家の声を行政へ

#### 平成24年度農業委員と農家との意見交換会

1月29日大宜味村第2会議室において、「農業委員と農家との意見交換会」が開催され農家、行政の職員20名程の参加があり農家からは切実な訴えがあった。

山城清臣副村長から「地域を巡ると農業委員会の活動が活発になっていくとの声をよく耳にする、委員が農家のよき相談相手になり、声を拾い上げ、施策に繋げられる事は村にとつても有益である。」と激励の挨拶があった。

参加者から農業経営の課題が多く挙げられた中で、死活問題だと最も強く訴えられたのが、鳥獣害対策である。ある農家は「収穫に行ったらカラスが食べつくし何もなかった、農業施策で所得保障があるが収穫できないのであれば保障の意味がない」「猪が嫌いな作物のみを栽培せざるを得ない、所得を上げるためには付加価値のある作物を栽培したい」と訴えた。村では鳥獣対策協議会(会長 長浜眞正)も発足し、農家の被害届があれば即対応したいとの事であった。

しかし、会場からは「それだけでは解決不可能、県全体で一斉行動など捕獲の方法を検討して欲しい」との強い意見があった。

今回の会では農家の参加者が少なかつたが、現在、村では「農村基本計画策定」を進めているところであり、多くの農家の意見を拝聴したいとしている。農家の意見が即村行政へ反映するものなので、懇談会開催の折には、是非足を運び、農業振興の課題を共有してほしい。

農業委員会の平成25年度の意見交換会は、7月頃を予定している。

- 参加者で確認した左記のことを農業委員会からの建議・要望事項として村へ申し出致します。
- ① 鳥獣害対策の強化
  - ② 産地化を目指すために施設等の台風対策支援
  - ③ ビニールハウス等の農業廃棄物の処理支援
  - ④ パインの栽培支援
  - ⑤ 6次産業化、観光とリンクした20年先を見据えた農業振興を推進してほしい。

平成25年2月1日(金)  
編集・発行 大宜味村農業委員会  
☎0980-44-3477

### 農業委員会 2月予定表

日/(曜日)	内容
2/12(火)	各種申請・許可等締切
2/19(火)	議案作成(執行部会)
2/25(月)	総会

### 農村基本計画策定アンケート収集



購読料：月額600円  
年間購読7,200円  
発行：毎週金曜日  
申込み：農業委員会事務局  
連絡先：44-3477 担当：大城

### 「人・農地プラン」 大宜味村の農業の担い手への期待

国は、食と農林漁業の再生を早急に図り、力強い農業構造の実現に向けた、各地域の「人と農地」の問題解決の為に支援事業を推進しています。その事を受け、当村においても、各校区で懇談会を開催し農業者の意見を聞くと共に、地域の担い手をリストアップし、今後の大宜味村の農業者担い手について話し合い、「人・農地プラン」の作成を進めてきました。

この事業には、就農への意欲を高め、就農後も安心して農業を続けられるよう、農業を志す若者の支援として、新規就農者へ年間150万円の支援の制度があります。担い手の少ない村にとっては、農業者育成を目的とした支援制度は必要です。

今回、希望者を募ったところ、十数名の申請がありました。五年後、村の地域農業の中核になる担い手の決定です。審査会において、個々の面談を行いその制度の目的を理解していただくこととしました。

審査員の役割は大きなものです。受ける方の一生を決めることにもなります。決定するの不安が伴いました。「150万円の魅力だけで応募したのではないか、本当にこれから地域農業の中核者になってくれるのか、150万円が無駄にならないか」、そうであっても、新規で農業をがんばってくれる担い手へは大きな期待があります。支援を受ける方々が栽培作物の指導者、アドバイザーとなり、農業経営者としての模範となり、多くの若者が農業へ魅力を感じ、誇りを以て生涯の仕事として農業を選択してくれるよう願うばかりです。

大宜味村農業委員会事務局長 宮城久美子

## シークワサーの肥培管理について

### 1. 土壌診断で施肥設計

連年多収するためには適量の施肥が重要です。園地の土壌診断を行って、窒素成分、pH、ミネラルなどの重要な成分がどのようになって入るか把握する必要があります。

### 2. 未結果樹の施肥

未結果樹の施肥は2月から9月にかけてしっかり行い、樹の生育を図ります(表1)。施肥量は窒素成分で21kg/10aが適しています。使用する肥料の窒素分を計算してから施肥量を決定してください。

### 3. 結果樹の施肥

成木の施肥時期は収穫後の新梢が出る前の2月から施肥を開始し、生理落果終了後の果実肥大を促進する5月に2回目を行い、果実肥大と樹勢を維持する8月に3回目を行い、4回目は樹勢維持と生食用果実の最終施肥を10月に行います(表2)。なお、施肥後はかん水を行い、肥料の吸収を促します。

表1 シークワサー未結果樹の施肥 (1樹あたり)

樹齢	チッソ量 g	肥料名	年間施肥量 g	年間施肥量		
				2月 g	6月 g	9月 g
1年生	40	有機706	57C	230	170	170
		ミカン専用1号	40C	160	120	120
2年生	60	有機706	86C	340	260	260
		ミカン専用1号	60C	240	180	180
3年生	80	有機706	1140	450	345	345
		ミカン専用1号	80C	320	240	240

表2 シークワサー結果樹の施肥 (10aあたり)

肥料名	年間チッソ 量(kg)	年間施肥 量(kg)	年間施肥量			
			2月 (kg)	5月 (kg)	8月 (kg)	10月 (kg)
有機706	21	300	75.0	75.0	75.0	75.0
ミカン専用1号		210	52.5	52.5	52.5	52.5

お問い合わせ:シークワサー振興室 0980-44-3084 担当:住(すみ)まで

### 第十四期 第17回総会議題結果報告

日程	報告	結果
1、議案第三十二号 農地集積計画 5件	1、議案第三十三号 選挙人名簿について 1件	議案第三十二号 5件 可決
2、議案第三十三号 選挙人名簿について 1件	2、合意解約について 1件	議案第三十三号 可決
		議案第三十三号 可決

条件 選挙人名簿登録要件に満たない農家は対象外  
① 農地面積(三百坪)に達していない農家  
② 住所が村外である方



\*平成二十五年二月二十二日〜三月八日までの十五日間、大宜味村選挙管理委員会で縦覧することができます。

# 農業委員会活動風景

12月17日(月)  
赤土流出防止対策実施農家の  
情報交換会



耕作放棄地や農地確認、農地のパトロール前の  
打ち合わせ



平成25年1月28日(月)  
農作物検査法セミナー、蕎麦の等級検査が  
始まります。



農業委員・職員  
週の始めは業務の打ち合わせから(毎週月曜日)

講師は沖縄総合事務局の  
細山田守生企画指導官



農業委員と農家の意見交換会  
平成25年1月29日(火)



平成25年1月29日(火)



農業の切実な訴えは「鳥獣害対策」カ  
ラス、イノシシ、コウモリどうする？



1月31日(木)  
塩屋保育所・喜如嘉保育所のこどもたちが  
平良幸也さんの赤土大根を収穫しました!



# 大宜味村産業祭り

1月19・20日 大宜味村産業祭り  
農業委員会では、農家相談コーナーの傍ら『さ  
んまの炭焼き』を販売し祭りを盛り上げました!



眞喜志委員が大活躍でした!



産業祭りにて農地相談

大宜味村蕎麦生産組合コーナーは、「和そば」  
販売に、行列が出来大盛況でした!



## 産業まつりで「農業者の相談会」行う

産業まつりは天候に恵まれ、多くの方が訪れ大盛況でした。農業委員会は、農業者相談会を受ける傍ら、サンマの炭焼きを出店し祭りを盛り上げました。農業相談コーナーには「退職して農業をしたいがどのような手続きが必要か」「大宜味村の農業委員の活動を知りたい」など他市町村の方も興味を持ち、祭りへの参加を申し込みながら併せて、農業のお話も聞けると大好評でした。委員は、サンマ焼き担当、相談業務受け担当等分担し楽しみながら祭りに参加することができました。小学校体育館では、農業委員活動、赤土対策事業、耕作放棄地事業等の活動を写真等で紹介しました。農業委員の活動が農家の皆さんに理解していただけたと思います。農業委員の活動が農家の皆さんには全量売れました。美味しかったとの声に焼き担当の眞喜志委員気を良くしておりますので、「腰痛!」と言わず、来年もお願いいたします。